可動ルーバー面格子 **Vテクト**

取 扱 説 明 書

このたびは、当社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様が末長く適正な使用をしていただくための説明・注意事項が記載してありますので大切に保管しておいてください。この製品を正しくお使いいただくため、ご使用前には、この取扱説明書をよくお読みください。
引っ越し等により転出される場合は、この取扱説明書を次期入居者または、管理人に必ずお渡ししてください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または製品の寿命をいちじるしく短くする可能性が想定される」内容です。
🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意

■留守をされる時、またはお休みの時は、防犯上全閉にされることをお勧めします。

■長期間羽根可動操作をしないと、スムーズに作動しなくなるおそれがあります。少なくとも1ヶ月に2〜3回は開閉してください。

■羽根可動時に、部品・部材の摩擦による音が発生することがあります。経年による油ぎれや、ごみ又はほこり・異物による可能性があります。そんな場合は、ほこり等をふき取り、軸・レバー部に市販のシリコンスプレーで注油してください。

■強風時は振動により音鳴りが発生する場合がありますので、窓を閉めてください。

羽根に物を吊したり羽根と羽根の間に物を挟まないでください。

・羽根に物を立て掛けないでください。

・羽根の前に物を置かないでください。

羽根を手などでムリに動かしたり、物など差し込んだりして、羽根にムリな力を加えないようにしてください。

網戸を強く押さないでください。網がはずれたり、壊れるおそれがあります。

※網戸はVテクトUT・UTRに取付けしています。

網戸には、ライターなどの火気を近づけないでください。

絶対に分解・改造は行わないでください。

Vテクト

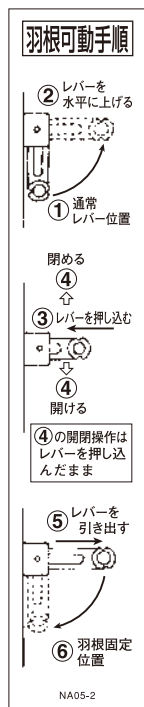
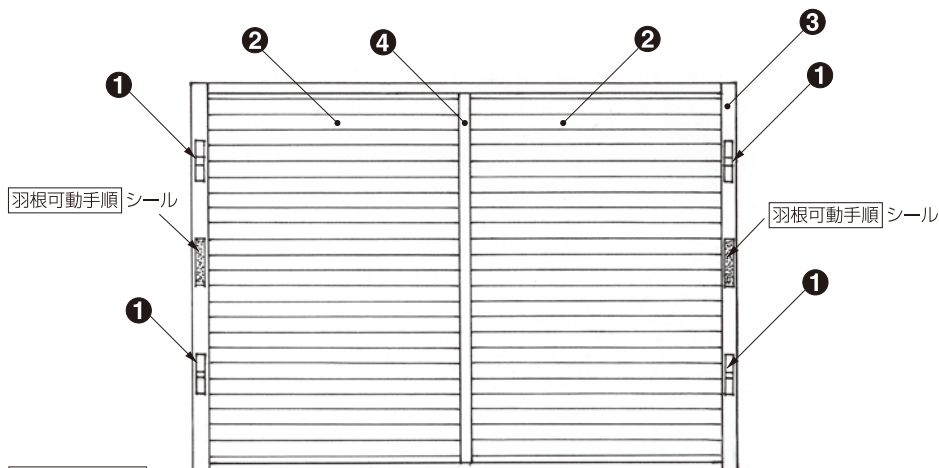
各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

④の開閉操作は
レバーを押し込
んだまま

⑤ レバーを
引き出す

⑥ 羽根固定
位置

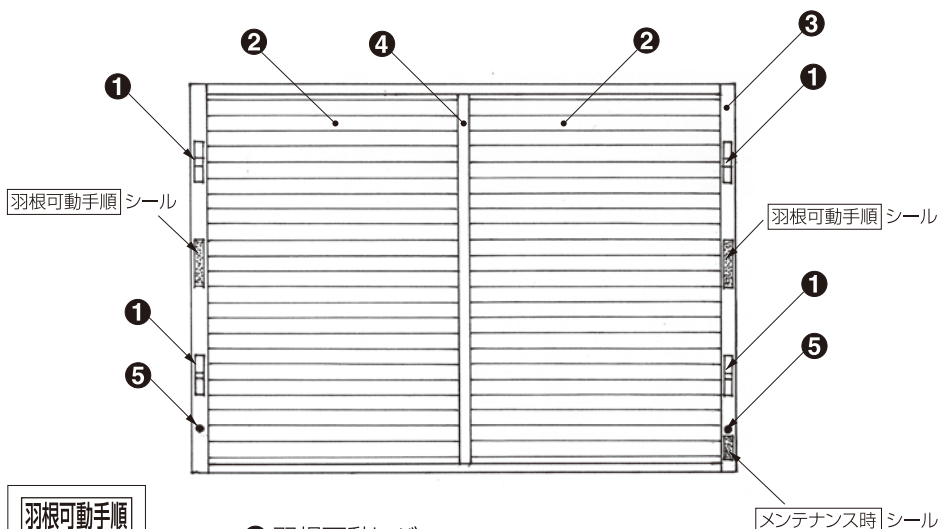
NA05-2

❶ 羽根可動レバー
（1ヶ所のタイプもあります）
❷ 羽根
❸ 本体枠
❹ 中桟
（中桟が無い場合は、
❶の羽根可動レバーが、左右どちらかになります）

羽根可動手順 シール

Vテクト（網戸・窓ガラスのメンテナンス仕様）

メンテナンス時 のシールがある場合

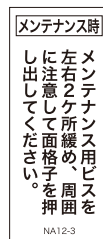
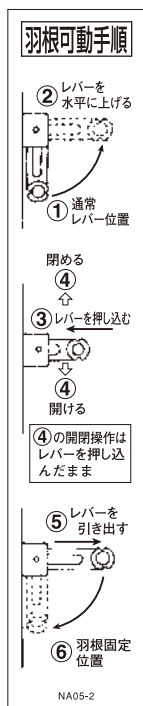
各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

❶ 羽根可動レバー
（1ヶ所のタイプもあります。）

❷ 羽根

❸ 本体枠

❹ 中桟
（中桟が無い場合は、
❶の羽根可動レバーが、左右どちらかになります。）

❺ メンテナンス用ビス
（網戸・窓ガラスのお手入れの時にご利用ください。）

Vテクト（段窓仕様）

各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

❶ ❷ ❸ ❹ ❺ ❻ ❼

羽根可動手順 シール

メンテナンス時 シール

❶ 羽根可動レバー（1ヶ所のタイプもあります。）
❷ 羽根
❸ 上部面格子本体枠
❹ 中桟
（中桟が無い場合は、
❶の羽根可動レバーが、左右どちらかになります。）
❺ メンテナンス用ビス（上部面格子用）
❻ メンテナンス用ビス（下部面格子用）
❼ 下部面格子 本体枠

羽根可動手順

②レバーを水平に上げる
①通常レバー位置

閉める ④
③レバーを押し込む
④ 開ける

④の開閉操作はレバーを押し込んだまま

⑤レバーを引き出す
⑥羽根固定位置

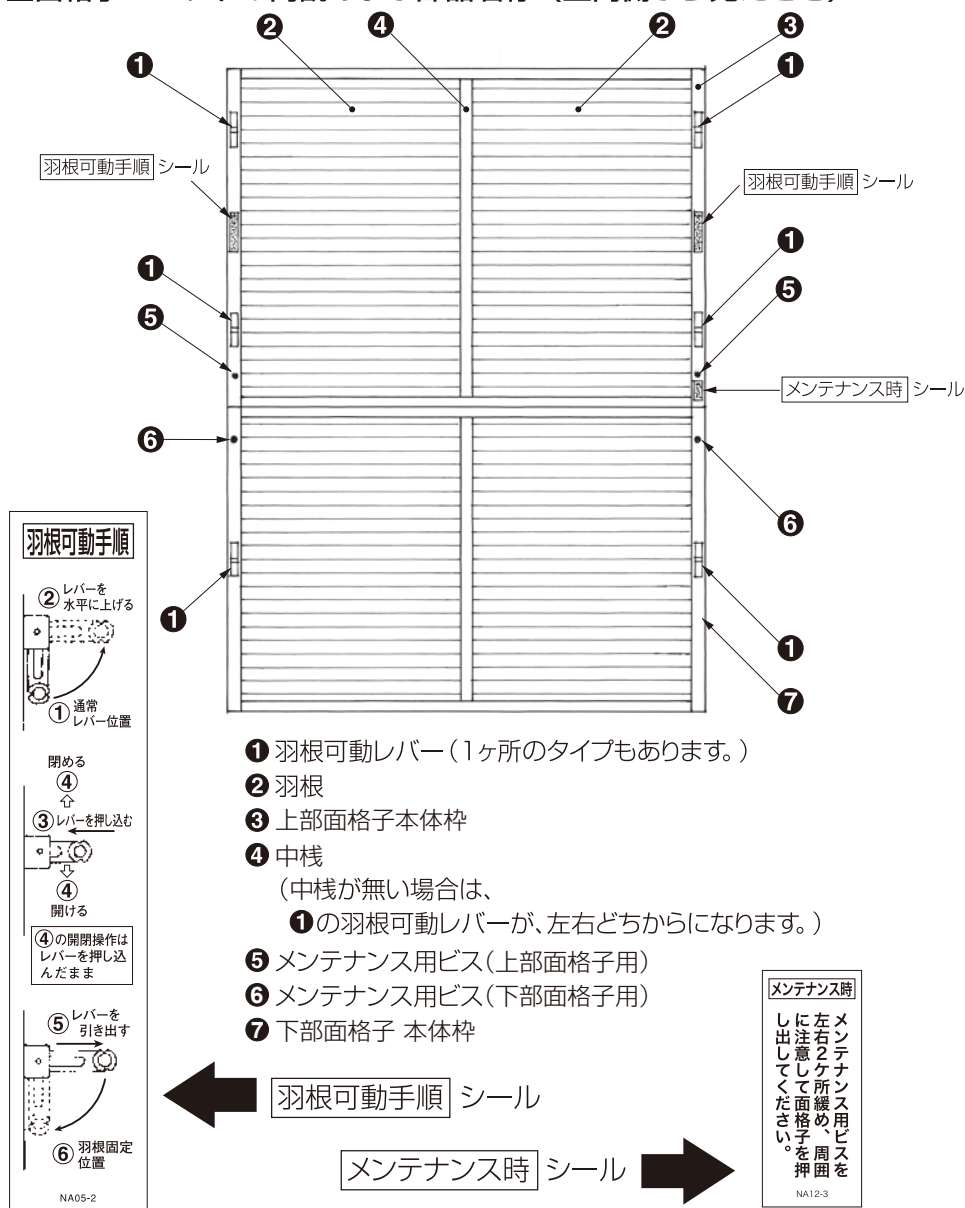
NA05-2

← 羽根可動手順 シール

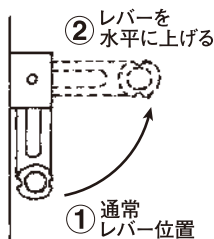
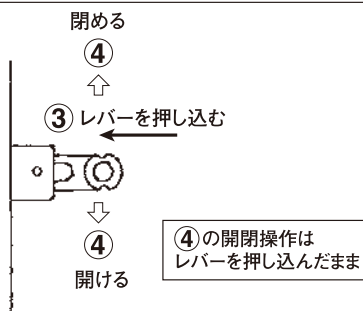
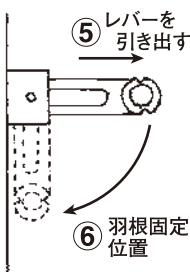
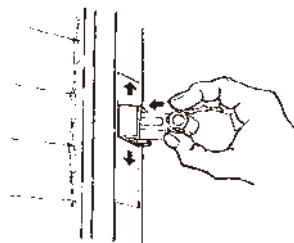
メンテナンス時 シール →

メンテナンス時

メンテナンス用ビスを左右2ケ所緩め、周囲に注意して面格子を押し出してください。

NA12-3

羽根可動の方法

■羽根可動時に、部品・部材の摩擦による音が発生することがあります。経年による油ぎれや、ごみ又はほこり・異物による可能性があります。そんな場合は、ほこり等をふき取り、軸・レバー部に市販のシリコンスプレーを使用してください。
※サラダ油等の使用はしないでください。

1 「羽根可動レバー」を水平に上げる。

2 「羽根可動レバー」を持って「羽根」の角度調整をする。

3 「羽根可動レバー」を羽根固定位置⑥に倒し、羽根を固定する。

! 羽根可動レバーは強い力を加えますと故障の原因となりますのでゆっくりと開閉操作を行ってください。

! 羽根角度調整後は、**必ず羽根可動レバーを羽根固定位置に戻してください。**押し込んだままの状態では開閉時にサッシ・網戸と干渉する恐れがあり、破損の原因となります。

■角度調整は、4段階で調整できます。
90°以上ではロックできません。

■羽根角度を固定した状態でも、構造上クリアランス（すきま）を設けているため、少しの動きが発生しますが、故障ではありません。

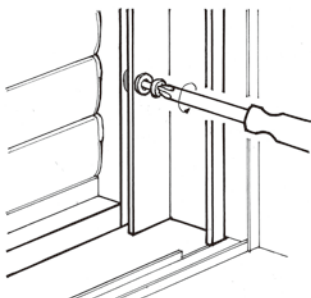
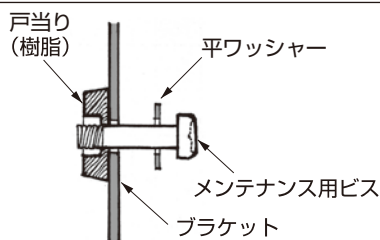
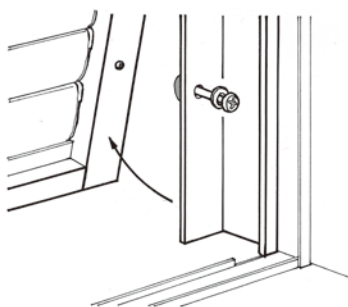
■羽根と羽根に隙間がありますので全閉時でも、隙間から光漏れがあります。

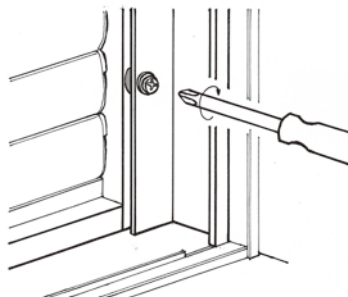
メンテナンス仕様の

網戸と窓ガラスのお手入れについて

面格子を開放することにより網戸と窓ガラスのお掃除が簡単にできます。

■お手入れの手順

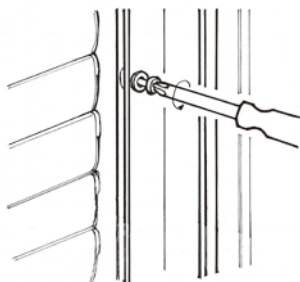
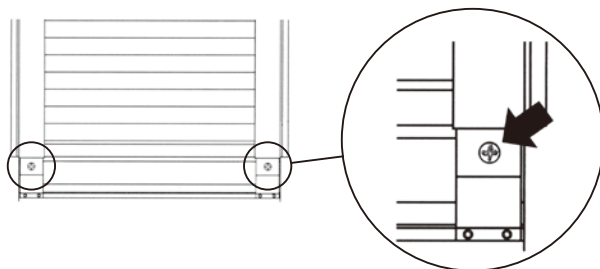
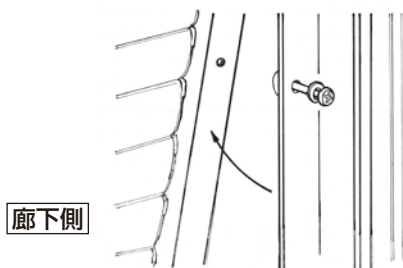
1 面格子取り付けブラケットの下側についているメンテナンス用ビス2箇所（左右各1箇所）をプラスドライバーで緩める。

2 前方に注意して面格子を押し出し、サッシと面格子の隙間から網戸をお手入れしてください。

注）ビスは緩めるだけで
取り外さないでください。

3 お手入れ終了後、面格子を戻し羽根可動レバーの作動を確認後、プラスドライバーでビスをしっかり締めてください。

※メンテナンス時は面格子が躯体等に接触しないよう注意してください。破損の原因になります。

段窓仕様（1体型もしくは外部ブラケットがある場合）の

網戸と窓ガラスのお手入れについて

上部面格子を開放することにより網戸と窓ガラスのお掃除が簡単にできます。

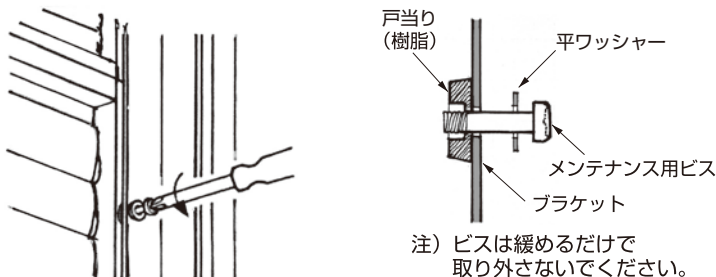
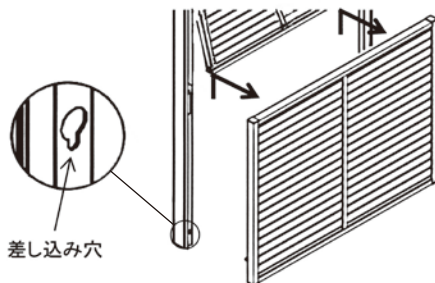
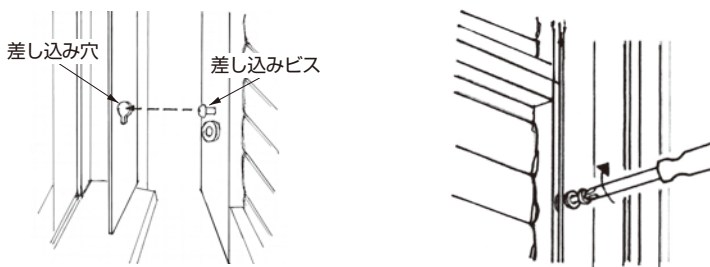
1	部屋内側より面格子取り付けブラケットの下側についているメンテナンス用ビス2箇所（左右1箇所）をプラスドライバーで緩める。

2	外部より面格子下側についているメンテナンス用ビス2箇所（左右1箇所）をプラスドライバーで緩める。

3	周囲に注意し面格子を廊下側に押し出し、サッシと面格子の隙間からお手入れしてください。

4	お手入れ終了後、面格子を戻し羽根可動レバーの作動を確認し、プラスドライバーでしっかり締めてください。

※メンテナンス時は面格子が躯体等に接触しないよう注意してください。破損の原因になります。

段窓仕様（下部脱着式〈G〉仕様）の
網戸と窓ガラスのお手入れについて

下部面格子を取り外すことにより網戸と窓ガラスのお掃除が簡単にできます。

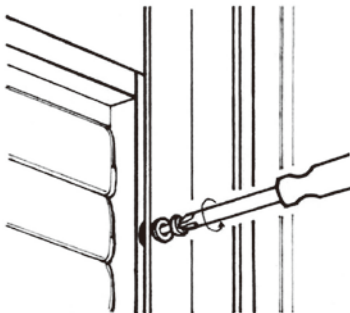
■面格子の取り外し方

1	上下の面格子取付けブラケットについているメンテナンス用ビスをプラスドライバーで緩める。

2	外部より上側の面格子を引き出し、その隙間から下部の面格子を少し上方向に持ち上げて外側に外し、お手入れしてください。

3	お手入れ終了後、 面格子内部下側についている差し込みビス頭をブラケット下部の差し込み穴に引っ掛け、 部屋内より全てのメンテナンス用ビスを仮止めする。 羽根可動レバーの作動を確認し、作動に問題が無ければプラスドライバーでしっかり締めてください。

※取り外し時には面格子の破損・ケガに十分お気をつけください。

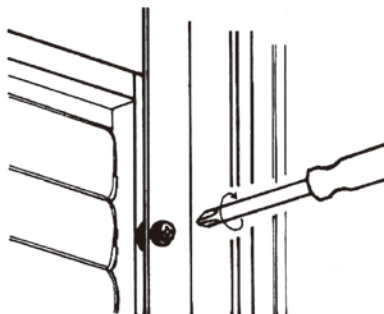
下部嵌め殺し窓の

網戸と窓ガラスのお手入れについて

■お手入れの手順

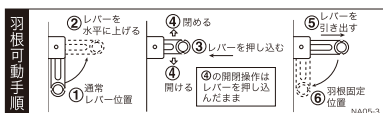
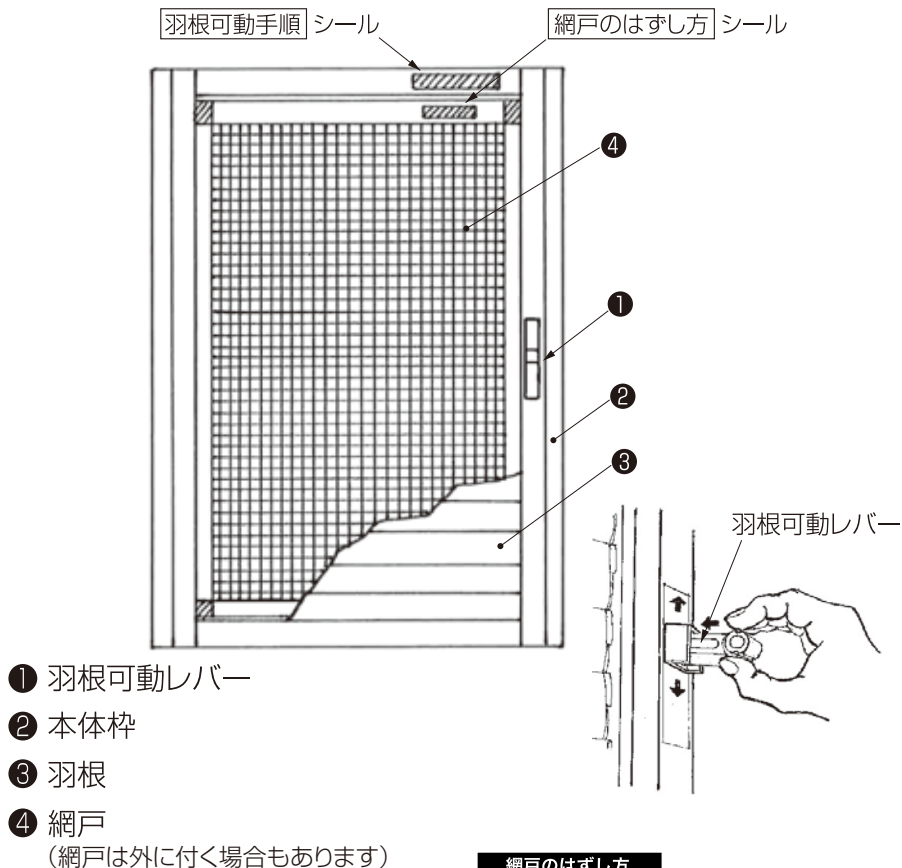
1	面格子取り付けブラケットの上側についているメンテナンス用ビス2箇所（左右各1箇所）をプラスドライバーで緩める。

2	面格子を手前から前方に押し出し窓ガラス（網戸）をお手入れしてください。

※前方に押し出す際はストッパーがついておりますが勢い良く倒れることがありますので周囲に注意してください。

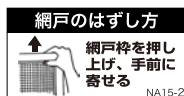
3	お手入れ終了後、面格子を戻しプラスドライバーでビスをしっかり締めてください。

Vテクト UT
（内倒し・内開き窓専用）

各部の名称

■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

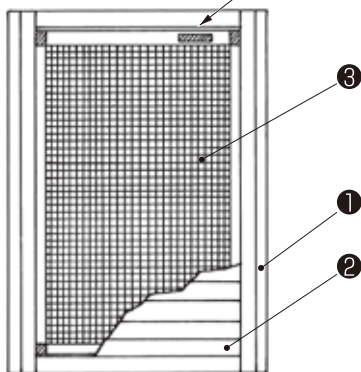
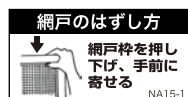
❶ 羽根可動レバー
❷ 本体枠
❸ 羽根
❹ 網戸
（網戸は外に付く場合もあります）

内倒し窓用

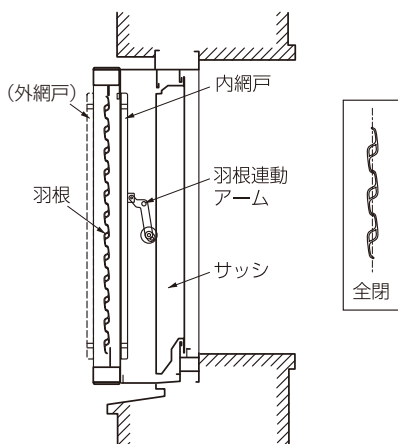
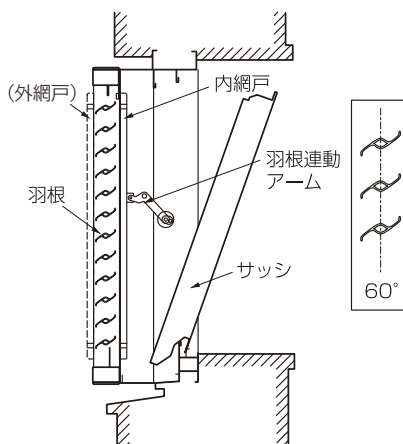
内開き窓用

羽根可動手順 シール

網戸のはずし方 シール

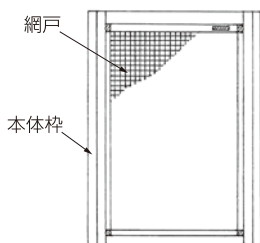
Vテクト UTR
（内倒し窓専用 連動型）

各部の名称

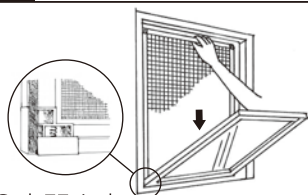
■面格子ユニットの内観および部品名称（室内側から見たとき）

羽根可動の方法

1 サッシを閉じると羽根の角度は全閉となります。

2 サッシを開けると羽根は60゜開きます。

網戸の取り外し方

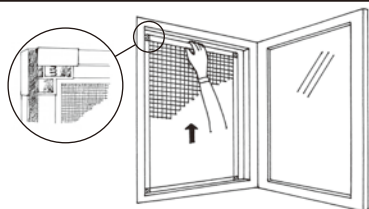
■本製品は面格子に網戸が一体化されています。
　網戸のお手入れや交換時、簡単に取り外しができます。

内網戸の場合　（部屋内から見た図）

外網戸の場合　（部屋外から見た図）

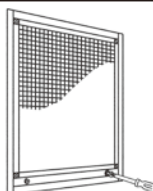
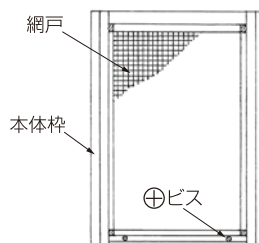
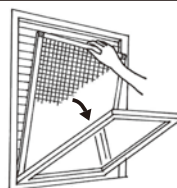
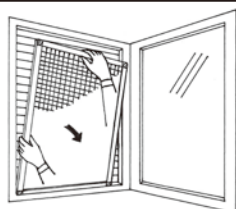
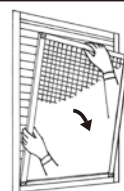
●内倒し窓

1　網戸の枠を持ち､下に押し下げてください。

2　網戸を手前に寄せると外れます。

●内開き窓

1　網戸の枠を持ち、上に押し上げてください。

2　網戸を手前に寄せると外れます。

●外網戸

1　外部より面格子本体下部にあるビスを外す。

2　網戸の枠を持ち､押し下げ手前に寄せると外れます。

■網戸の取付は逆の手順で行ってください。
（網戸が本体枠に確実に取り付けられているか確認してください､取り付けが不十分な場合脱落することがあります。）

日頃のお手入れについて

日頃のお手入れは、製品を長く、安全にご使用いただくために大切なことです。

■面格子はアルミニウム及び樹脂で作られています。表面に付いたゴミ・ホコリ、雨水等は腐蝕の原因になります。又、部材の摩擦により羽根可動や開閉操作が重くなりますので、定期的に掃除してください。

■海岸地帯や交通量の多い地域は、塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、こまめにお手入れをしてください。

製品本体及び網戸についたほこり、雨水が付いたときは、こまめに拭きとってください。

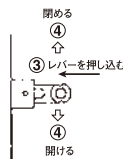
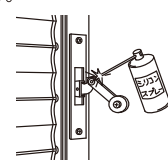
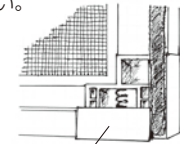
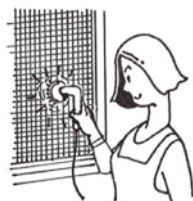
面格子のお手入れ

■上下の枠 および 羽根の両面には、ほこり、ごみ、異物などが付きやすいので、化学モップなどで念入りにお掃除をしてください。

■洗剤をご使用の場合は、中性洗剤を薄めてお使いいただき、その後カラ拭きをしてください。

網戸のお手入れ（VテクトUT・VテクトUTRのみ）

■網戸の両側から水を含ませた柔らかい布やスポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落としてください。

■電気掃除機をご使用の場合は、ブラシのついた吸込み口を取付けて、軽くこするようにして吸取ってください。

■汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた柔らかい布や、スポンジなどで、軽くはさむようにして汚れを落としてください。汚れが落ちたら水を含ませた布やスポンジなどで拭き取ってください。

◎網戸の防虫網の交換については、市販の引違い窓用の網を購入していただき、お客様が交換することもできます。網の張り替え作業は、一般の網戸と同様におこなってください。

故障かなと思ったら

■次のような場合は故障ではありません。もう一度お調べください。

こんなとき	調べるところ	なおし方
羽根が動かない。	羽根可動レバーが引き出されていないか、又はレバーが倒れていないか。	レバーを水平にして押し込む。（羽根可動手順③の位置） 閉める ④ ③ レバーを押し込む ④ 開ける
	羽根可動操作手順通りに操作しても動かない。	ほこり等をふき取り軸部に注油する。
羽根を開閉すると異常音がでる。 キィ〜	羽根の回転軸部。 （湿気やほこりが付くことにより、羽根回転軸部からこすれる様な音が発生する場合があります。）	ほこり等をふき取り軸部に市販のシリコンスプレーで注油する。 シリコンスプレー **UTRの場合** 羽根連動アーム部に市販のシリコンスプレーで注油する。 シリコンスプレー
網戸が取付けられない。	網戸の向き。	網戸の外し方シールを確認して、網戸の取付方向を確認してください。 外網戸の場合はバネ付樹脂部品を下側にして取付けてください。 バネ付樹脂部品

※全閉時、羽根と羽根の間に隙間がでる場合がありますが故障ではありません。

■それでも異常がある場合は、お買い上げ店（工務店）または当社までご連絡ください。